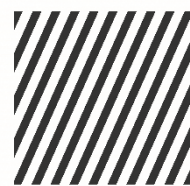


地域活動の活性化に向けたワークショップ

福井地区ニュースレター

Vol.03 令和4年10月

次なる
茨木へ。



福井地区では、「”住み続けたいまち”を目指して、福井地区の未来を考えよう」をメインテーマに、地域の更なる活性化を目指して、全3回のワークショップを実施しています。令和4年10月10日（月）に開催した第3回のワークショップでは、これまでのワークショップで話し合った内容を踏まえ、**まちづくりの将来像・スローガンを実現するためのできるだけ具体的な”アクションプラン”を考える**ワークショップを実施しました。

アイデアを深めるヒントにしたい事例の紹介

第3回ワークショップでは、グループごとの話し合いを行う前に、これまでのワークショップの中で見てきた**地区の共通の悩みごと**について考える上で、参考となりそうな**他市の事例紹介**を行いました。

地域に関わる人を増やすためには、**まずは活動を楽しんでもらうことが重要**という視点から、**普段の活動を楽しんでもらうちょっとした工夫**の事例や、情報共有の課題を解決するための、**気軽に情報を知ってもらう工夫**の事例などを紹介しました。

共通の悩み事	解決に向けて考慮したい視点
担い手の高齢化・減少	・地域に関わる人をどのように増やす？
活動が多くて大変	・今、頑張っている人たちが活動疲れしないようにするには？ ・活動の見直し、作り直し、統合が必要？
団体間の連携・情報共有がうまくいっていない	・連携の促進、情報共有のために必要な仕組みは？ ・新たな連携、情報共有のやり方（ツール）は？

○紹介した他市事例の1つ「みんなの掲示板」（神戸市）



「みんなの掲示板」は、一定のルールの中で、市民の方が自由に広告物を設置できる公共掲示板です。気軽に情報発信を行えることに加え、まちなかに無秩序に広告物が設置されるのを防ぐ効果もあります。

◆第3回実施概要

日時 2022.10.10（月）13:30～15:30

会場 福井公民館

参加者数 20人

プログラム

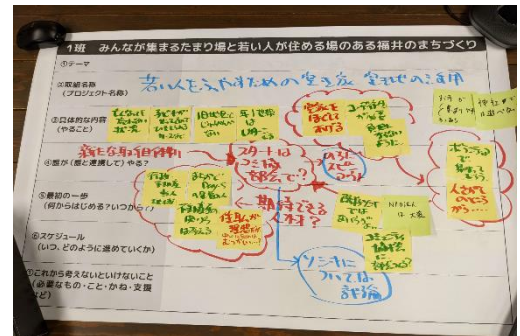
- 1 会長挨拶
- 2 前回の振り返り
- 3 アイデアを深めるヒントにした
い事例の紹介
- 4 ワーク：「将来像」を実現するた
めのアクションを考えよう
- 5 グループ発表（全体共有）

ワーク：「将来像」を実現するためのアクションを考えよう

今回のワークでは、これまでの話し合いの内容を、単なる「ビジョン」ではなく、「アクション」としていくために、これまでの話し合いで出た取組みのアイデアの中から、実際にチャレンジするものを選び、**次年度以降、もしくはすぐにでも取り組んでいくための具体的なプラン**を考えました。最終的には、具体的な計画を記載した**7つの「アクションシート」**が出来上がりました。また、アクションシートを作成した取組み以外にも、全3回のワークショップを通して、たくさんの「**アクションの種**」が出されました。

グループ	「アクションシート」を作成した7つの取組み
1	・若い人を増やすための空き家・空き地活用 ・子育ての負担感を減らす取組み（①ファミリーサポートの実施促進・利用促進②地域が子育てを支える、学校を支える取組み）
2	・福井人材育成”聞き書き体験”甲子園 ・各種団体の活動一覧リストの作成から始めるコミュニティ協議会のあり様検討
3	・とりあえず、情報発信！！（地域情報誌の発行） ・いろいろな人の声を聞こう！！（小学校編）（小学校への投書箱設置）
4	・後継者の育成～組織（地域コミュニティ協議会）づくり構想～

グループ	ワークショップで出された「アクションの種」（抜粋）
1	・子どもも高齢者も遊び集える場（放課後子ども教室と、高齢者の居場所づくりを学校で行えば、子どもも高齢者も遊べる）
2	・福井の山を使った「プレーパーク」を実施
3	・徳島県那賀町のような未来コンビニを福井にも。（直売所など）
4	・役員の役割・任期の明確化



これで全3回のワークショップが終了しました。福井地区では、アクションシートの取組みの中から、まずは年度内の発行を目指して地域情報誌の作成にチャレンジされるそうです。福井地区の今後の展開が楽しみです。